

麦の穂

医療法人 光臨会
荒木脳神経外科病院
Araki Neurosurgical Hospital

53

平成 24 年 10 月 10 日

発行責任者 医療法人光臨会 理事長 荒木攻

荒木脳神経外科病院における 地域医療情報連携 ネットワークシステム

はじめに

地域医療連携とは「患者中心の切れ目のない医療サービス提供」であり、当院は、現在まで①緊急紹介専用電話の設置（地域で診療する医師との連携強化）、②開放病床の運営（登録医 79 医療機関）、③MRI・CT等の共同利用（画像診断）、④機能を強化した在宅療養支援による医療連携（8 医療機関の参加）などを行ってきました。

この度は、さらなる医療連携強化を検討した結果、検査・診断・治療など診療情報の共有化が必要という考えに達しました。一年間の構想を経てインターネット環境が必要であるという観点から、平成 24 年 4 月に地域医療情報連携システムを導入し、6 月からシステムを稼働させています。

基本コンセプト

基本コンセプトを「①気軽、②簡単、③便利」と考えました。目的はあくまで地域医療に尽力する医師が気楽に使用できることです。さらに「①スピード、②コスト、③安全」が担保されていることが必要です。これら全てを網羅するシステムを設計しました。

厚生労働省の支援

システム検討中に、厚生労働省から地域診療情報連携推進事業の公募があり、応募しましたところ採択されました。

- ① 患者への診療情報提供、
- ② 医療機関や介護・薬局への診療情報提供、
- ③ 予約システム、
- ④ 開放病床登録医からの電子カルテ入力、
- ⑤ 遠隔画像読影支援、等のインターネット上で安全性の担保されたネットワークシステムを構築できました。

安全性の確保

安全性確保のために、①「患者・家族の同意」を基に、その患者の診療情報のみを対象にします。②「コンピュータの限定」を行います。デジタル証明書の発行を行いネットワークに参画できるパソコンを限定し、さらに専用ID・パスワードを発行し、閲覧者を限定します。③情報漏洩防止のため、SSL/VPN及びIPsec/VPNという、現在整備できる最高レベルのセキュリティを導入しました。利用は原則無料（遠隔画像読影のみ一部有料）です。

最後に

当院では、地域連携においてシームレスな医療提供を行い地域医療の質の向上を目指しています。地域医療に尽力されている医師をはじめ関係各位の方々にも積極的な本システムの活用をお願い申し上げます。

病院長 沖 修一



当院ホームページからのアクセス

連携医療機関のご紹介



山本内科循環器科



院長 山本 正治 先生 副院長 山本 光子 先生

住 所：〒733-0871
広島市西区高須一丁目5-23
TEL：082-274-4050
FAX：082-274-0265
診療科：循環器科・胃腸科・呼吸器科・内科
病 床：なし

診 療 時 間	月	火	水	木	金	土
9:00～13:00	●	●	●	●	●	●
15:00～18:00	●	●	／	●	●	／

* 休診日／水曜午後・土曜午後・日曜・祝日 * 夜間／緊急のみ対応

Q1 まず、貴院が開院してから現在に至るまでの歴史などをお伺いさせて下さい。

平成元年現在の地に無床診療所山本内科循環器科を開設しました。内科・循環器科・呼吸器科・消化器科を標榜しています。以来、地域の開業医として皆様の健康管理、健康相談、疾患の早期発見、生活習慣病のコントロール、在宅療養の手助けなど微力ながらもたずさわって参りました。平成13年には電子カルテを導入、それにリンクしたデータファイリングシステムをつかいますので、患者さんに目で見えてわかる説明がしやすくなったと思います。

Q2 貴院で力を入れている点やアピールポイントなどあればお聞かせ下さい。

循環器専門医として、心エコー、ホルター心電図、トレッドミル負荷試験など心臓疾患の非侵襲的精査おこなったり、必要に応じ適切な医療の提示、病院紹介おこなったり、病院からの逆紹介で、心臓疾患の日常の定期管理おこなっています。

一方、検査機器や技術の飛躍的進歩の時代にあっても、基本的な身体診察は大切であり、毎年神戸でおこなわれる physical examination 講習会の講師をつとめさせていただき、また院内でも2-3ヶ月に1回研修医や若手医師対象に勉強会をしています。

またここ数年来は毎年広島大学医学部学生の学外研修受け入れおこなっています。

若い人たちの元気をわけてもらい、また、若い人たちを指導するためには、常に自分も学び最新の知識や情報を知っておかねばなりませんので、とても励みになりありがたいことだと思います。

Q3 診療において大切にされていることはどんなことですか？

患者さんの思いをくむことと、患者さんの納得できる丁寧でわかりやすい説明をすることを心がけています。

Q4 当院に対するご意見などあればお聞かせ下さい。

頭痛、めまい、しびれなど、日常よくある症状で、皆さんが一番心配されるのは頭蓋内の病気がないだろうかと言うことです。荒木脳神経外科病院はご近所で、緊急時には時間外や休日でも診て下さり本当に助かっています。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



学会発表の ご報告

当院が6月～9月に全国規模の学会で発表した演題をご報告いたします。
今後も医療の質向上目指して、職員一同学術活動を通して、
スキルアップを図っていききたいと思います。



第46回日本作業療法学会
◆6月15～17日
◆宮崎シーガイアコンベンションセンター

「脳卒中患者の自殺企図・自己否定的発言内容に対する
アンケート調査～療法士間での関わりの相違について～」

リハビリテーション部
作業療法士 岡田美沙子

第9回日本口腔ケア学会
◆6月16～17日
◆名古屋学芸大学

「脳卒中急性期病棟における看護師の
日常的口腔ケア普及の取り組み～効果について検討～」

看護部
2階病棟看護師 佐藤 理恵

第62回日本病院学会
◆6月21～22日
◆福岡国際会議場・福岡サンパレス

「NST支援ソフトの院内開発」

事務部 システム課 佐々木英人

「当院におけるNST活動とその効果についての検討」

看護部 NST専従 山下美紀枝

「当院における嚥下障害を伴う脳卒中患者の
胃瘻離脱症例の検討」

診療部
外科部長 藤井 辰義

「脳梗塞慢性期加療中に非閉塞性腸管壊死（NOMI：
nonocclusive mesenteric ischemia）を発症した1例」

診療部
脳神経外科医長 谷 到

「脳卒中患者の退院に向けての生活指導パンフレット作成」

看護部
2階病棟看護主任 川村 美香

「脳卒中再発予防の為に患者教育の取り組み」

看護部
2階病棟看護師 吉本 智子

「回復期リハビリテーション病棟における
入院患者の口腔内環境の実際」

看護部
歯科衛生士 中井美佐子

「NSTにおける薬剤師の関わり ～症例検討を交えて～」

薬剤部
薬剤師 大田 浩之

「当院におけるチーム医療の認識について
～各部署の相違調査～」

リハビリテーション部
理学療法士 鈴木 深雪

「当院における脳卒中片麻痺患者に対する
下肢装具の作成状況」

リハビリテーション部
理学療法士 福田 愛

「当院における自主トレーニング指導の現状
～部内アンケート調査から～」

リハビリテーション部
理学療法士 流田 良治

「当院での摂食嚥下障害に対する
栄養サポートの取り組み一例」

食養部
管理栄養士 伊藤 佳奈

「当院における医療秘書課設立の有用性と今後の課題」

事務部
医療秘書課係長 増成 倫子

「救急医療における事務職員の役割」

事務部
医事課 上 佑加

「脳卒中患者の退院支援のための情報提供ツール
～福祉施設マップ作成の取り組み～」

地域連携室
MSW 尾崎 友哉



第14回日本褥瘡学会学術集会
◆9月1～2日
◆パシフィコ横浜

「当院療法士に対する褥瘡予防教育の在り方の検討
～アンケート調査からの考察を踏まえて～」

リハビリテーション部
作業療法科副主任技師 鈴川 剛弘

血管造影装置が更新されました

血管造影装置とは、カテーテルという細いストロー状の管を手首や、大腿の付根から挿入し、造影剤を用いて目的の血管を選択的に観察・治療するための装置です。

H24年6月に装置の更新を行いました（シーメンス社製Artis zee BA-Twin）。1回の造影剤使用で2方向同時撮影が可能（パイプライン）であり画質の経年劣化がないとされるフラットパネルディテクターを搭載しています（共に当院初）。さらに3D作成機能も進化し撮影後、約20秒で表示可能となり、血管内治療において大きな役割を果たしています。被ばく線量低減プログラムも充実しています。

検査部診療放射線科 主任技師 安部昌弘



■医療法人光臨会 理念

- 一、皆様に安心していただける、
全人的な医療と介護を目指します

■荒木脳神経外科病院 理念

- 一、脳神経外科としての専門性を軸に、幅広い診療体制で
地域医療に貢献します
- 一、急性期医療の中核病院として、高機能で質の高い
チーム医療を行います

■運営方針

1. 「医療の原点は救急である」
2. 快適な療養環境と接遇の提供
3. チーム医療の推進と相互啓発
4. 「医療と福祉の複合化」の推進

■患者様の権利

医療法人光臨会 荒木脳神経外科病院は、職員全員が次のような患者様の権利を尊重し、納得と同意に基づいた医療を行います。

1. 個人の尊厳が守られる権利を尊重します。
2. 最善かつ安全な医療を受ける権利を尊重します。
3. 医療に関して知る権利を尊重します。
4. 個人のプライバシーが守られる権利を尊重します。
5. 自分自身の治療等について自分で決定する権利を尊重します。
6. 自分自身の治療について他の医師の意見を聞く権利を尊重します。
7. 苦情を申し立てる権利を尊重します。

■患者様の義務

1. 患者様には適切かつ安全な医療を受ける為、
診療上必要な自らの情報を正確に伝える義務があります。
2. 患者様にはお互いに快適な療養生活を受ける為に、
定められた規則を守る義務があります。

外来担当医表

平成24年4月1日～

			月	火	水	木	金	土
脳神経外科	午前	初診(1診)	谷	山崎	理事長 荒木	院長 沖	副院長 江本	广大
		再診(2診)	院長 沖	院長 沖	副院長 江本	山崎	谷	谷
	午後	初・再診(1診)	副院長 江本	谷	广大	副院長 鯉川	山崎	广大
脳神経内科	午前	4 診				青木		
総合診療 (内科・外科)	午前	3 診	野村	藤井	野村	藤井	野村	渡辺
	午後	3 診	渡辺	渡辺	渡辺	野村	渡辺	野村
外 科	午前	4 診	藤井					
	午後	4 診					藤井	
脳神経外科 形成外科 消化器内科	午前	5 診			※1 平本	理事長 荒木 (再)		※2 井上

診察時間

◆完全予約制

午前 9 時～12 時

(受付: 午前 11 時 30 分迄)

午後 3 時～6 時

(受付: 午後 5 時 30 分迄)

救急は 24 時間受け付けております

※1 形成外科

第 2 水曜日(午前中のみ)月 1 回

平本 道昭(北野病院 形成外科)

※2 消化器内科

土曜日(午前中のみ)月 2 回

井上 正規(本郷中央病院 副院長)

医療法人光臨会

荒木脳神経外科病院

〒733-0821 広島市西区庚午北 2 丁目 8-7
TEL 082-272-1114 FAX 082-272-7048
E-mail info@arakihp.jp
ホームページアドレス http://www.arakihp.jp

荒木訪問リハビリテーション

〒733-0821 広島市西区庚午北 2 丁目 8-7
TEL 082-527-1123 FAX 082-527-1127

荒木クリニック 通所リハビリテーション

〒733-0822 広島市西区庚午中 2 丁目 11-15
TEL 082-507-6100

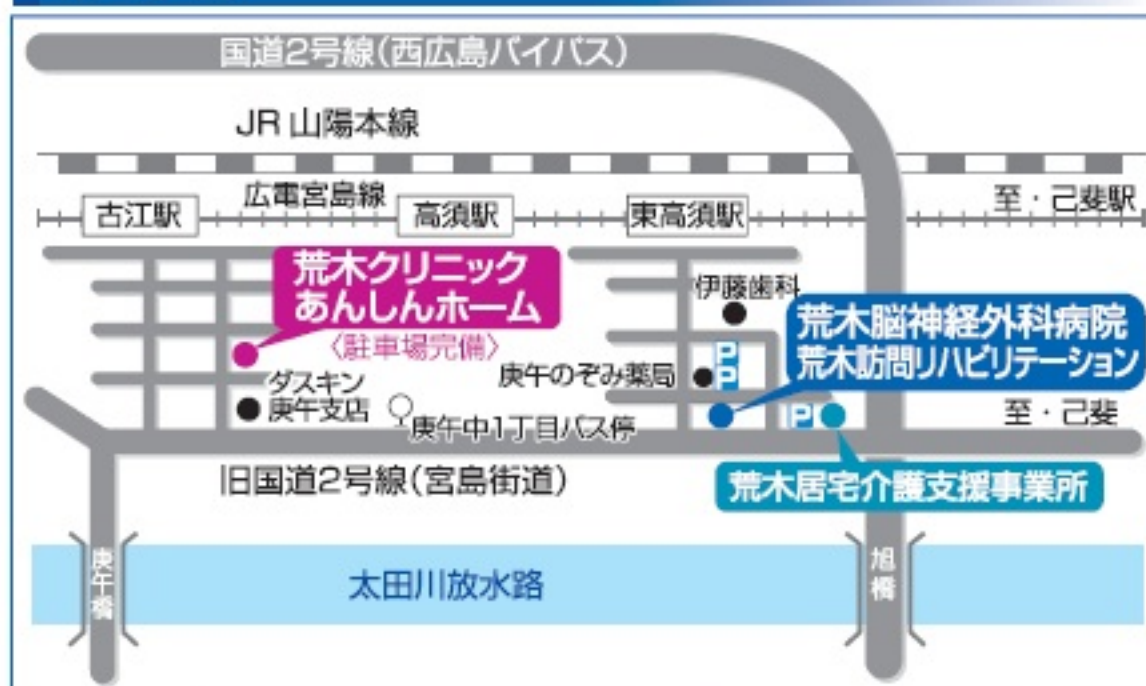
あんしんホーム(認知症対応型共同生活介護施設)

〒733-0822 広島市西区庚午中 2 丁目 11-15
TEL 082-507-6600

荒木居宅介護支援事業所

〒733-0821 広島市西区庚午北 2 丁目 14-201
TEL 082-507-6300

案内図



交通案内

○自動車

西広島バイパス「庚午出口」より宮島方向へ 100m (宮島街道沿い)

○広島電鉄・宮島線

「東高須」下車 徒歩 3 分

○広島バス25号線

「庚午北 2 丁目」バス停前



お知らせ

11月4日(日)、広島サンプラザおよび西部埋め立て第五公園にて広島西区民祭りが行われます。
当院も参加いたしますので、是非足を運んで下さい。